

# ノカンゾウ

*Hemerocallis fulva* L. var. *longituba* (Miq.) Maxim.

ユリ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

もともと稀産の種類であるが、減少傾向にある。(現況:R-)

## 形態

石川県のワスレグサ属植物には本種ノカンゾウのほか、ゼンテイカとヤブカンゾウがあり、3種が分布する。各種には、それぞれ特徴があって区別は容易である。本種は花色が橙赤色で花茎に苞があり、花茎は伸びて花序はふたつに分枝し、それぞれ10花内外が開花する。花はほとんど同形の6花被片よりなり、花筒は2~4 cmあって他種より長い。雄蕊は6本あり、結実することは少ない。なお、ヤブカンゾウはしばしば人家の周辺に生育し、ノカンゾウよりはるかに大型、八重咲きで雄蕊が弁化している。ゼンテイカは亜高山帯を中心に生育する種類で花色は橙黄色である。

## 国内分布

本州、四国、九州に分布。中国、台湾に分布する。

## 県内分布

従来は能登および加賀中央区に分布するとされたが、近年の調査により外浦区、内浦区、中能登区、口能登区、南加賀区から報告がもたらされた。

## 生態など

夏緑性多年草。花期は7~8月。

## 生育環境

原野や溝のふちなどに生育。

## 危険要因

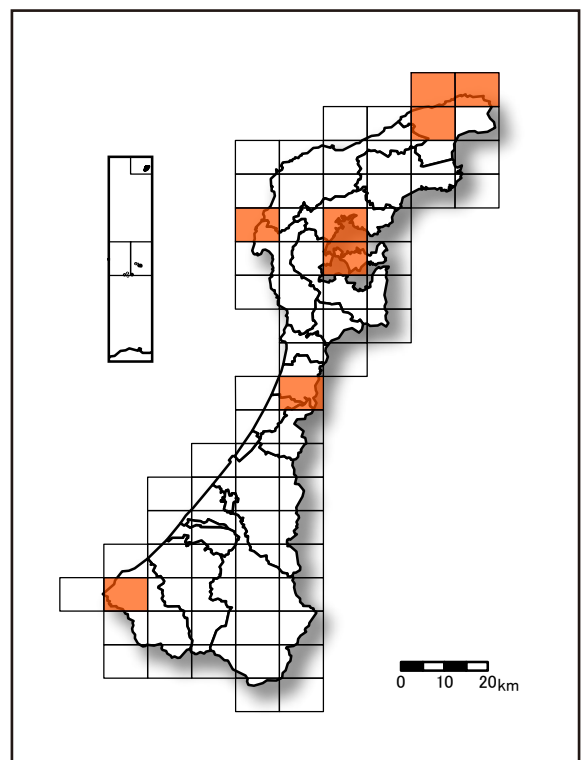
草地開発。

## 特記事項

本種とヤブカンゾウは、同一種の変種どうしの関係にある。



小野ふみゑ・2008年7月19日・能登



県内の分布